

第 19 回 柳岡開地さん (京都大学)

日本心理学会若手の会コラムリレーでは、若手のみなさまに、ご活躍されている領域や普段の生活についてご紹介いただきます。

第 19 回目は、柳岡開地さん (京都大学) にご執筆いただきました。

「シュウマイくんは、何の仕事してるんや？」

これは、私が幼稚園でよくされる質問の 1 つです。あだ名の由来は、顔の丸さと黒さが揚げシュウマイに似ているからだそうです。その質問はもっともで突然園に現れ、シュウマイ揚げごっこ(泥遊び)をしたり、真顔でこのクイズに答えてほしいと迫ったりと謎の多い存在です。

子どもたちには色々と言っていますが、実は発達心理学者をしています。子どもたちの生活の中にあるスクリプト(行動系列に関する知識)に関心があり、観察や実験をするために幼稚園・保育園によく留学しています。特に、スクリプトからずれた状況を修正または許容する姿と彼らの発達をリンクさせながら日々悶々と？考えています。たとえば、朝の用意ひとつとっても、私には宝の山です。最近、朝の用意をわくわくしながら観察しています。

発達とは自分で自分を作り変えていく「変化のプロセス」で、私はその「変化のプロセス」を生活の場で明らかにしていく仕事をこれからもしていきたいです。

柳岡開地 (Kaichi YANAOKA)

【ご所属】 京都大学大学院教育学研究科 教育認知心理学講座 齊藤研究室

【ご連絡先】 makifactor@yahoo.co.jp

【ホームページ】 <http://cogpsy.educ.kyoto-u.ac.jp/member/yanaoka.html>

【その他】 7月に横浜で開催される ICP2016 に参加・発表します。その頃にはすっかり日焼けして、揚げシュウマイのような色をしていると思います。皆様、気軽にお声かけください。